平成 24 年度

港北区区民意識調査報告書

©横浜市港北区ミズキー

平成 24 年 11 月

港北区役所

はじめに

昭和 14 年（1939 年）に誕生した港北区の人口は現在市内で最も多い 33 万人となり、今後もさらに増え続けることが予想されています。

若い世代の方々が多いまちである一方、高齢者世帯も増加し、大震災を契機に改めて地域のつながりや絆が重要視される中で区民の皆様の生活意識と生活行動を明らかにし、今後の区政の運営や施策立案の参考とするため、本調査を 4 年ぶりに実施しました。

調査項目には前回、平成 20 年（2008）年度の調査項目に加え、「区政への要望業務」、「子育て・虐待関連」、「区の魅力づくり」などを新たに設けました。

調査にご協力いただきました多くの区民の皆様には、厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 11 月

横浜市港北区役所

平成 24 年度　港北区区民意識調査報告書　目次

１　調査方法の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２　回答者の主な属性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３　調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

４　調査結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
（１）定住志向
（２）充実させてほしい区の業務
（３）近所とのつながり
（４）子育て支援
（５）災害への備え

５　調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

1　調査方法の概要

（１）調査の目的

本調査は、区民の皆様の区政に対する期待や生活に関する考え方などを伺い、今後の区政運営に役立てることを目的とする。

（２）調査期間

平成 24 年８月 24 日から９月４日まで

（３）調査方法

インターネット調査（登録モニターによるＷＥＢ調査）

（４）調査対象

区内在住の 20 歳以上の男女、1,000 人から回答を得た

（20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上、それぞれ 200 人ずつ）

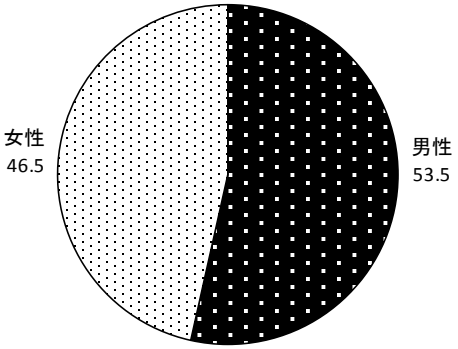
〈参考〉年齢・男女別　人口比

		調査結果		区全体(平成 24 年１月１日現在)	
		実数（人）	割合(%)	人口（人）	構成比(%)
全体(20 歳以上)		1,000	100.0	275,437	100.0
20 代		200	20.0	46,738	17.0
30 代		200	20.0	59,336	21.5
40 代		200	20.0	54,877	19.9
50 代		200	20.0	37,048	13.5
60 代以上		200	20.0	77,438	28.1
男性計		535	53.5	139,534	50.7
	20 代	96	9.6	25,246	9.2
	30 代	100	10.0	30,956	11.2
	40 代	100	10.0	28,925	10.5
	50 代	100	10.0	19,165	7.0
	60 代以上	139	13.9	35,242	12.8
女性計		465	46.5	135,903	49.3
	20 代	104	10.4	21,492	7.8
	30 代	100	10.0	28,380	10.3
	40 代	100	10.0	25,952	9.4
	50 代	100	10.0	17,883	6.5
	60 代以上	61	6.1	42,196	15.3

２　回答者の主な属性について

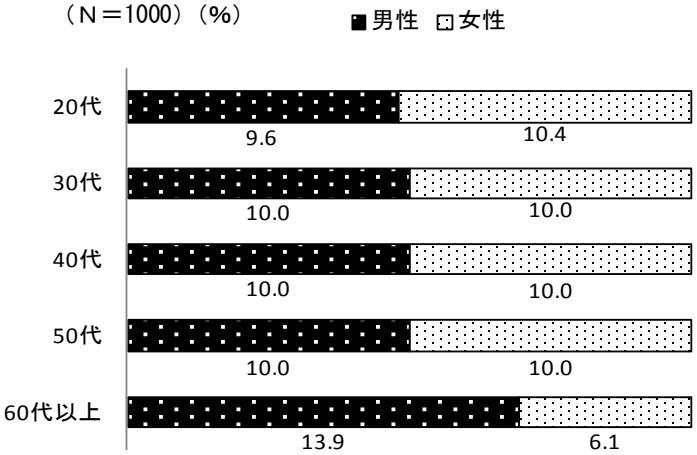
（１）性別

（Ｎ＝1000）（%）



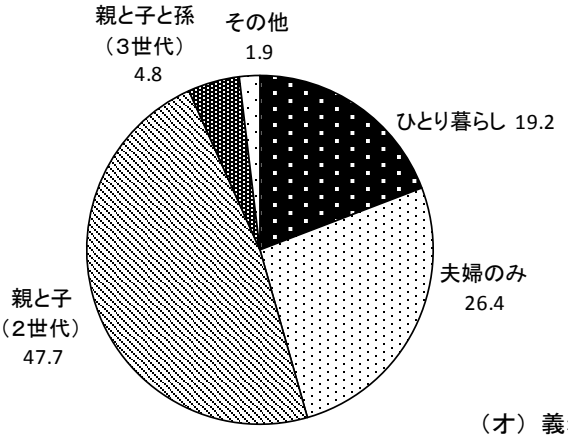
（２）年代

（Ｎ＝1000）（%）



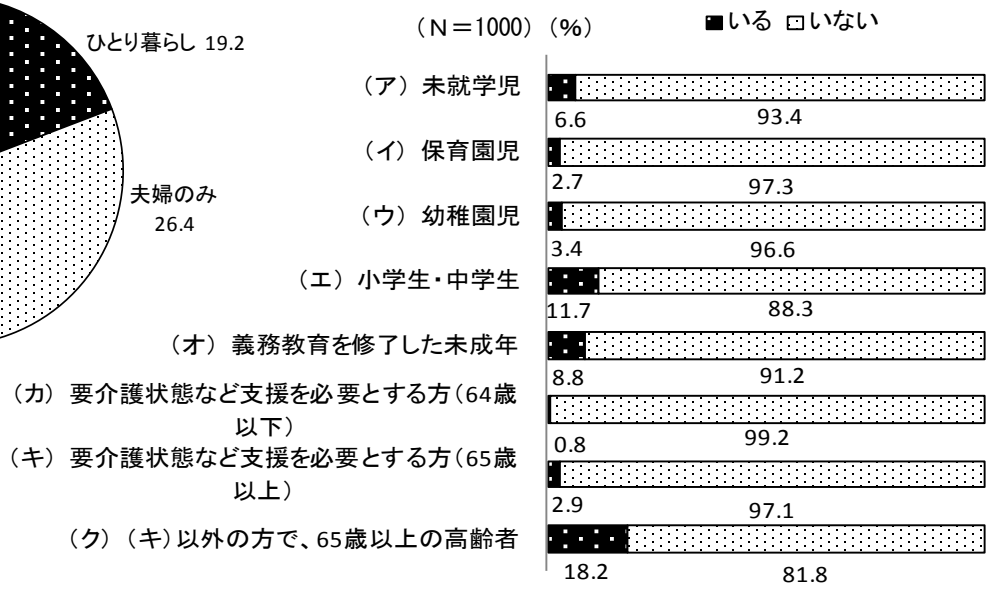
（３）家族構成

（Ｎ＝1000）（%）



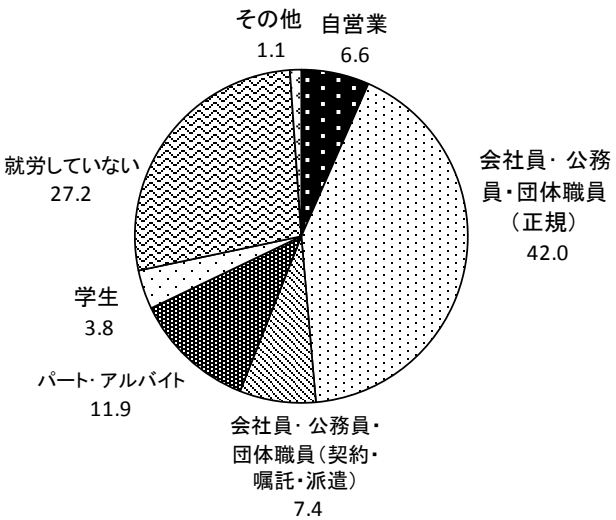
（４）同居の家族

（Ｎ＝1000）（%）



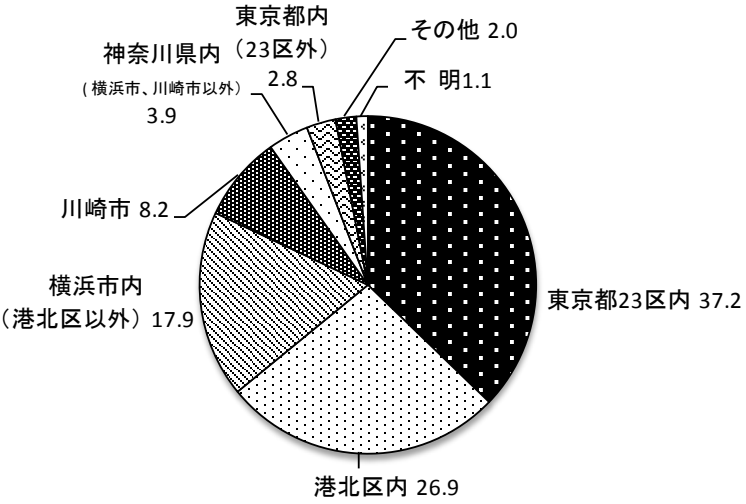
（５）就労状況

（Ｎ＝1000）（%）

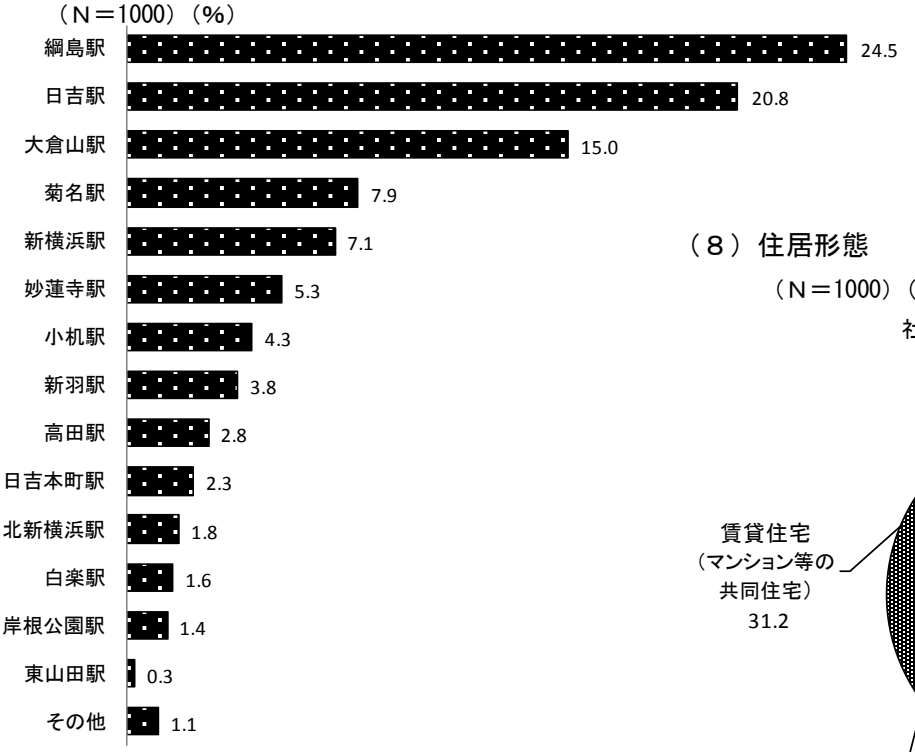


（６）通勤・通学場所

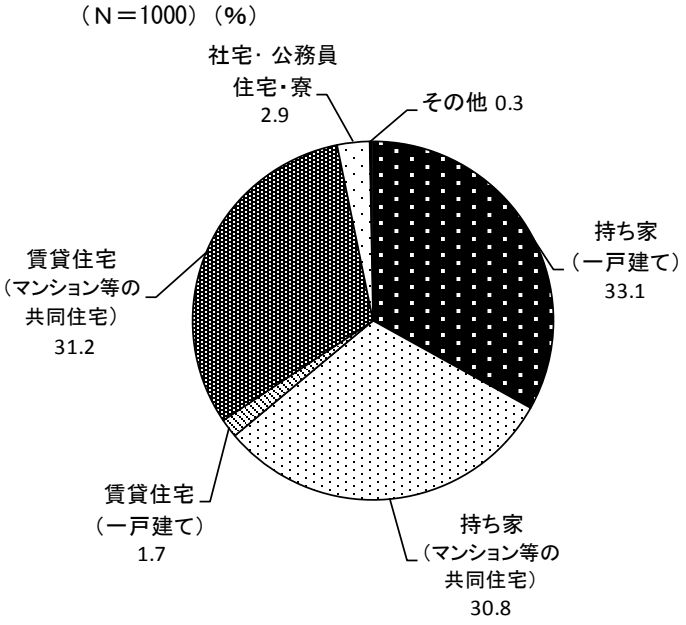
（Ｎ＝717）（%）



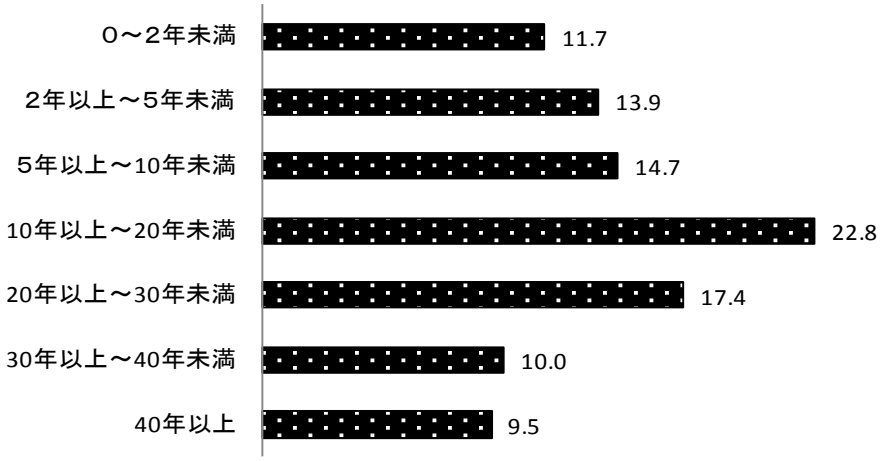
（７） 利用駅



（８） 住居形態



（９） 居住年数 （Ｎ＝1000）（%）



(10)　居住地域（Ｎ＝1000）（%）

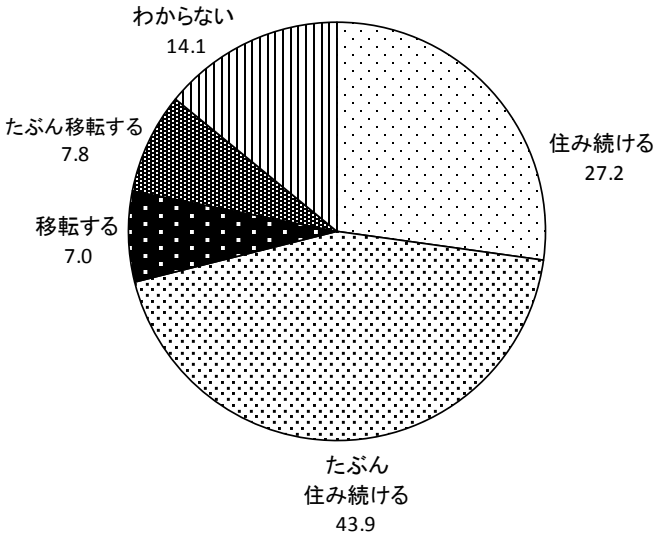
地区名	構成町名	今回調査結果の分布	(※)実際の人口分布
大曽根	大曽根・大曽根台	3.3	3.3
菊名	菊名4～7丁目、篠原北、新横浜、錦が丘、大豆戸町	11.9	11.5
篠原	菊名1～3丁目、篠原台町、篠原西町、篠原東、仲手原、富士塚、篠原町	11.6	11.9
城郷	岸根町、小机町、鳥山町	6.6	7.1
樽町	樽町	5.7	4.6
太尾	大倉山	8.8	7.3
師岡	師岡町	2.5	3.1
新吉田・新吉田あすなろ	新吉田町、新吉田東	7.1	8.5
高田	高田町、高田東、高田西	3.9	5.3
綱島	綱島上町、綱島台、綱島東、綱島西	11.1	12.2
新羽	新羽町、北新横浜	5.1	3.9
日吉	下田町、日吉、日吉本町、箕輪町	22.4	21.3

(※)平成 24 年 9 月末現在

３　調査結果の概要

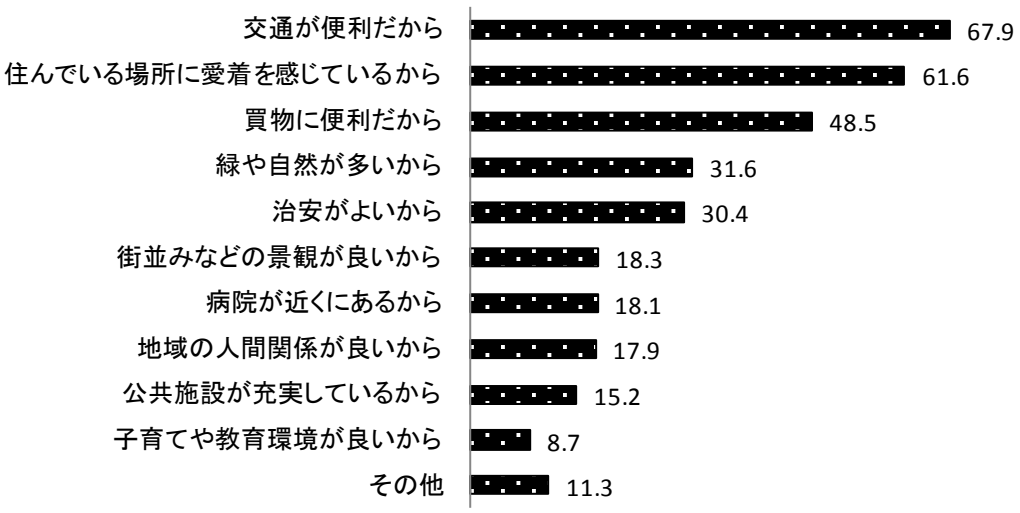
定　住　志　向　**「住み続ける」「たぶん住み続ける」が７割**

【図１】 問９　これからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



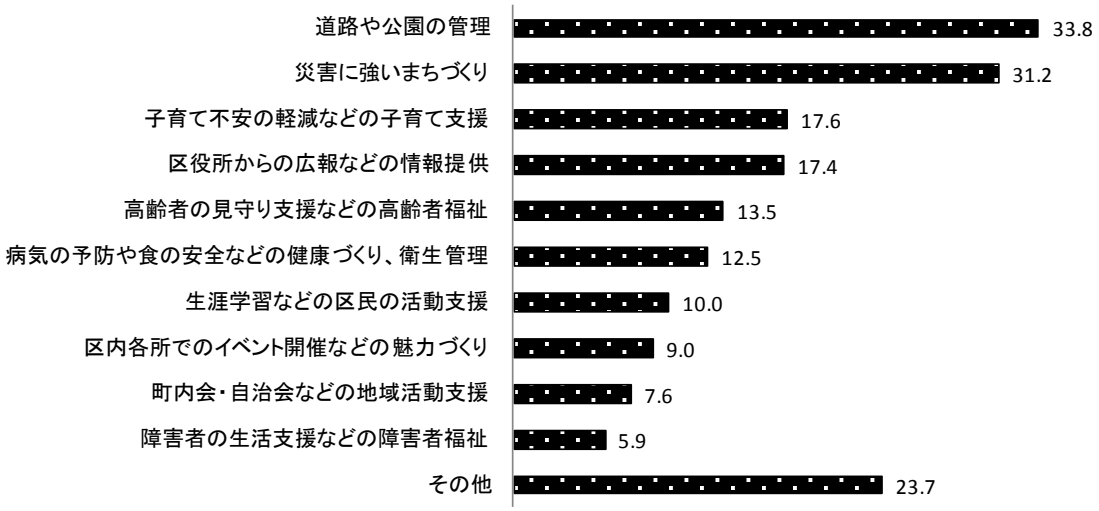
住み続ける理由　**「交通が便利だから」「愛着を感じているから」「買い物に便利だから」の順**

【図２】 問 10　（問 9 で「住み続ける」、「たぶん住み続ける」と回答した方）
港北区内に住み続けようと思う理由（複数回答）（Ｎ＝711）（%）



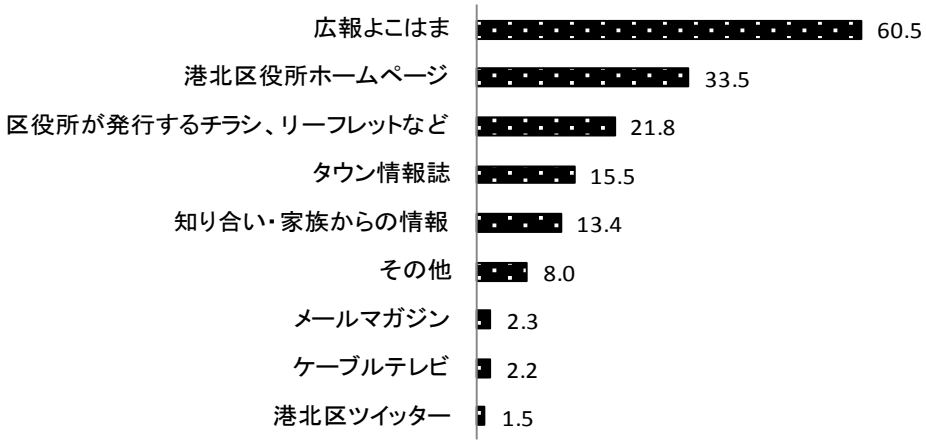
区で充実させてほしい業務　「道路や公園の管理」「災害に強いまちづくり」「子育て支援」の順

【図３】 問 11　区役所の窓口サービス以外の業務で今後より充実させてほしいと思う業務（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



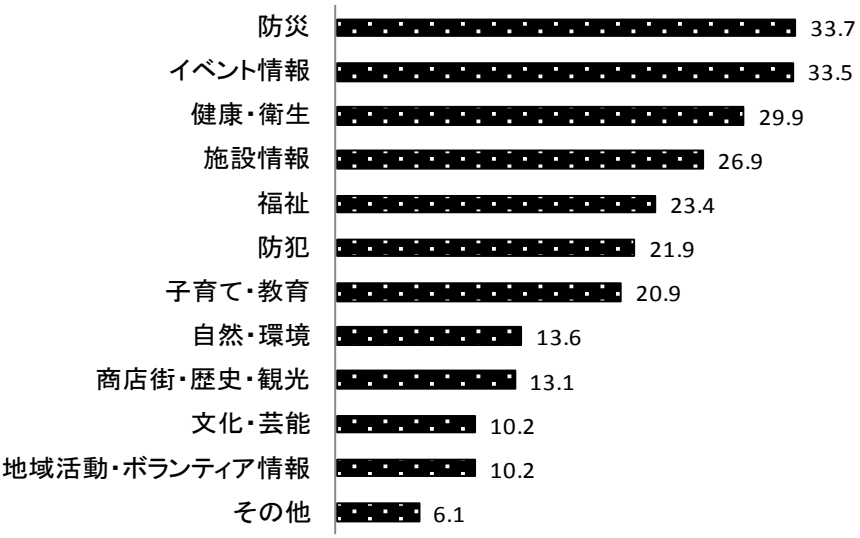
区役所からの情報　「広報よこはま」から６割、「ホームページ」から３割

【図４】 問 12　区役所の情報を主に何から得ていますか（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



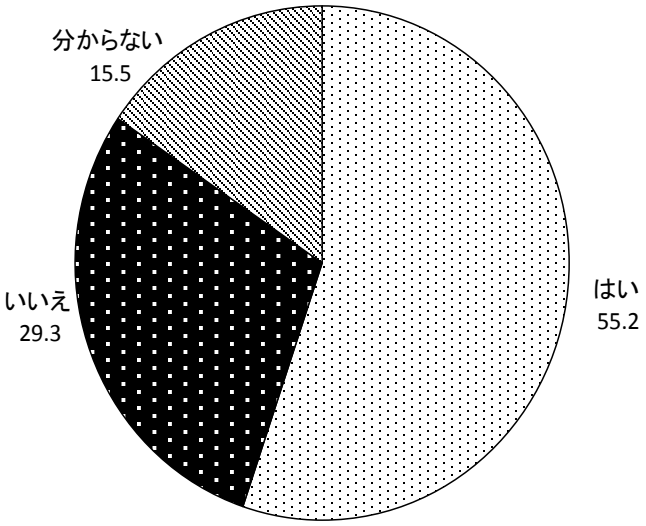
広報で知りたい情報　「防災」「イベント」「健康・衛生」の順

【図５】 問 13　区役所からの広報で知りたい内容は何ですか（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



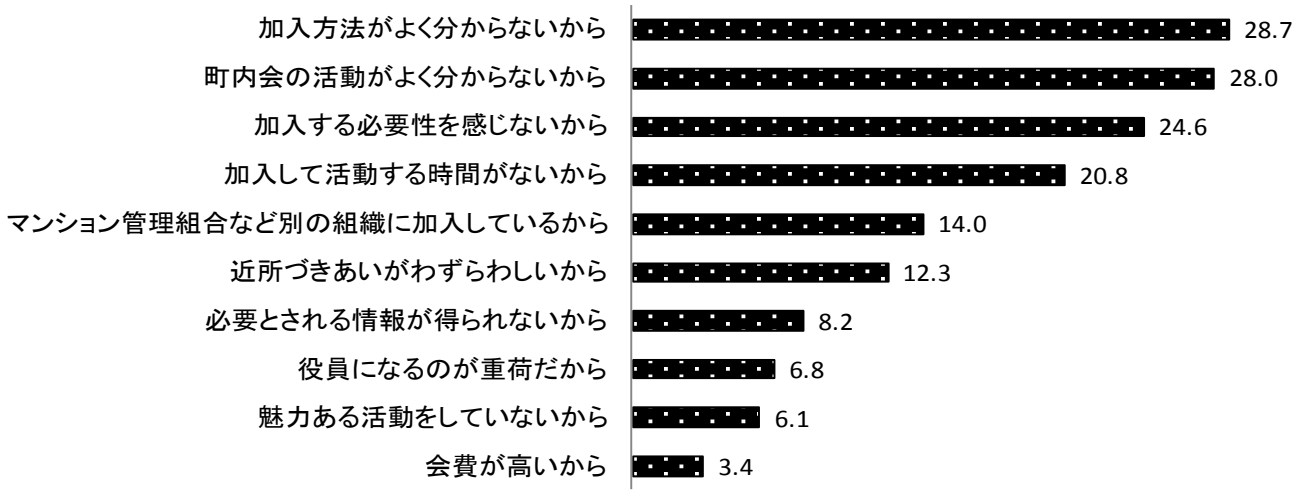
自治会・町内会の加入　「加入している」が５割強

【図６】 問 14　自治会・町内会に加入していますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



自治会・町内会の未加入理由　「方法がよくわからない」「活動がよく分からない」「必要性を感じない」の順

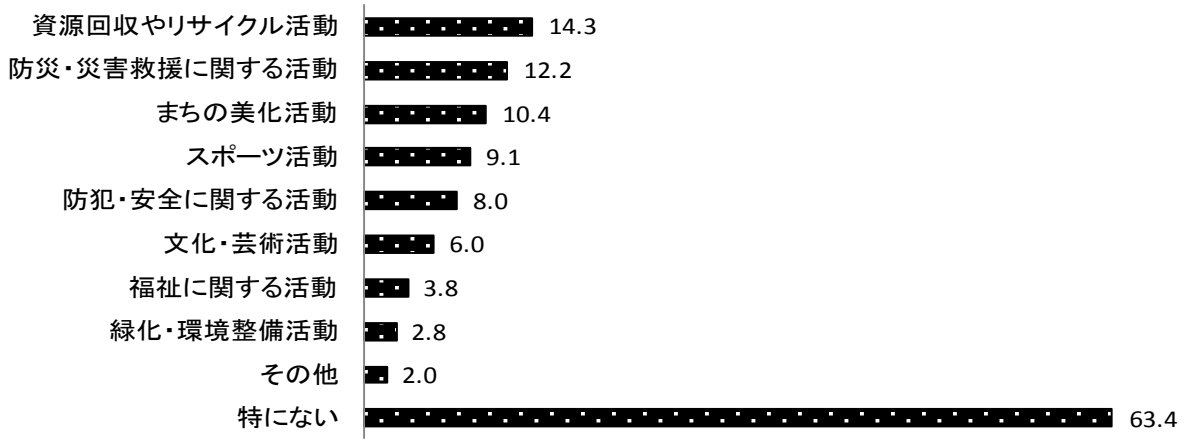
【図７】 問 15　（問 14 で「いいえ」と答えた方）それはどのような理由からですか（３つまで回答）（Ｎ＝293）（%）



過去の地域活動　「参加したことがない」が６割強

【図８】 問16　参加したことがある、地域の皆さんと行う活動･ボランティア活動をお選びください（過去３年以内）

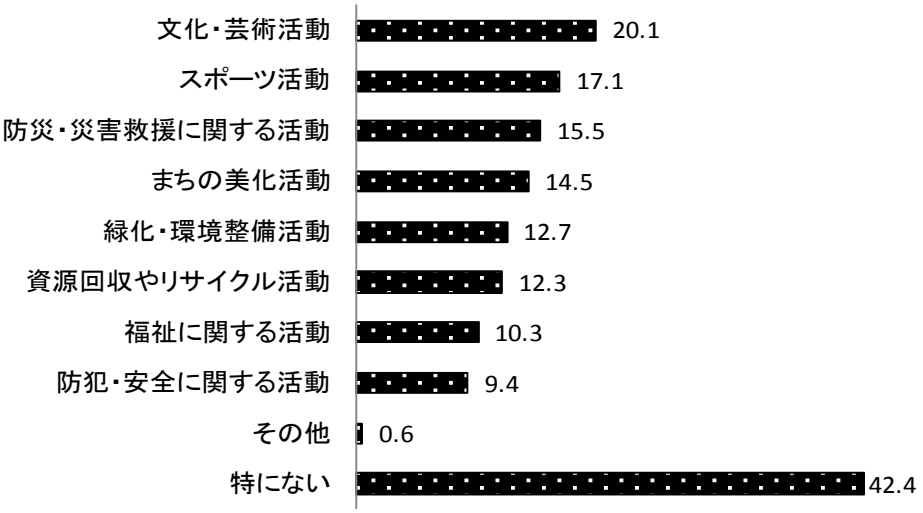
（複数回答）（Ｎ＝1000）（%）



参加したい地域活動　「文化・芸術活動」「スポーツ活動」の順

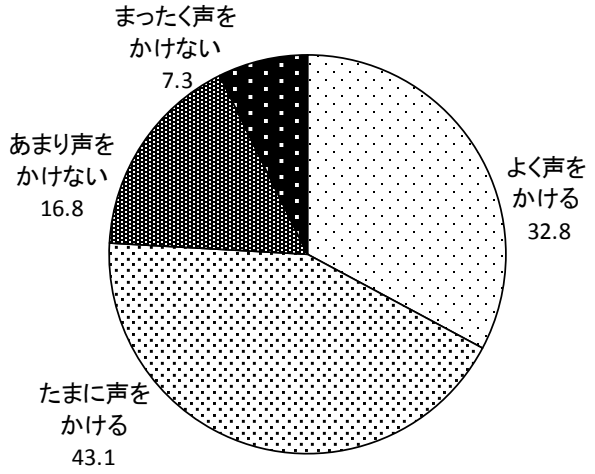
【図９】 問17　今後参加してみたいと思う、地域の皆さんと行う活動･ボランティア活動をお選びください

（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



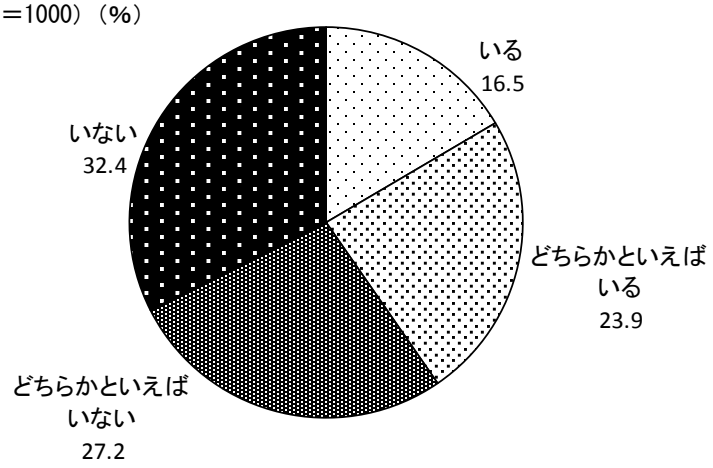
近所への声かけ　「よく声をかける」「たまに声をかける」が８割弱

【図 10】 問 18　近所の人に対し、あいさつなどで声をかけることがありますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



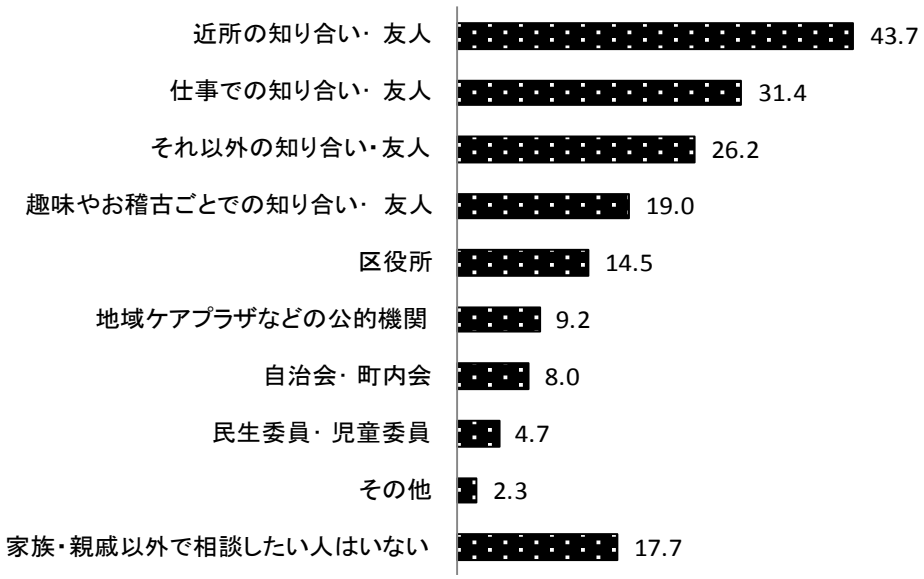
近所への相談　近所に相談できる人が「いる」「どちらかといえばいる」が４割

【図 11】 問 19　身のまわりのことで、ちょっと困ったことがあった場合、家族･親戚以外に近所に相談できる人がいますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



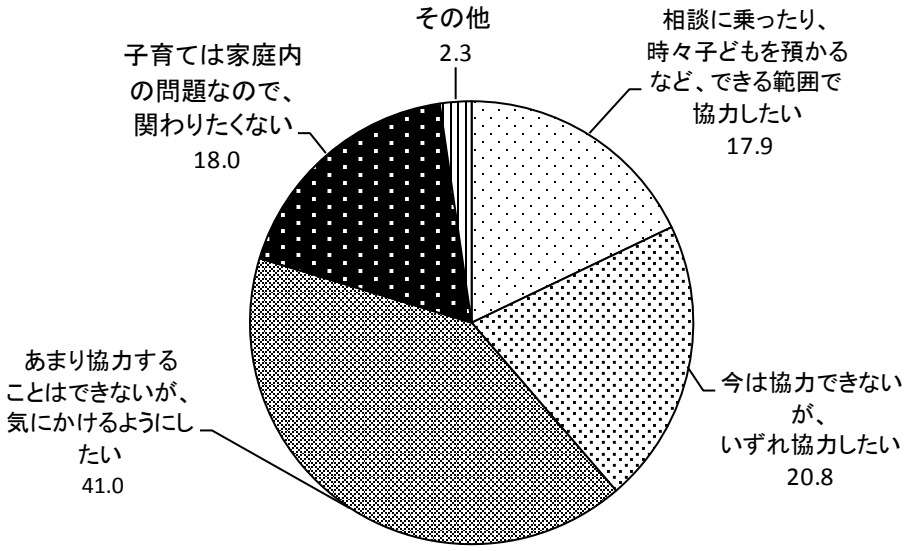
相　談　相　手　「近所の知り合い・友人」「仕事での知り合い・友人」の順

【図 12】 問 20　身のまわりのことでちょっと困ったことがあった場合、家族・親戚以外で、相談するまたは相談できると良いと思う相手をお選びください（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



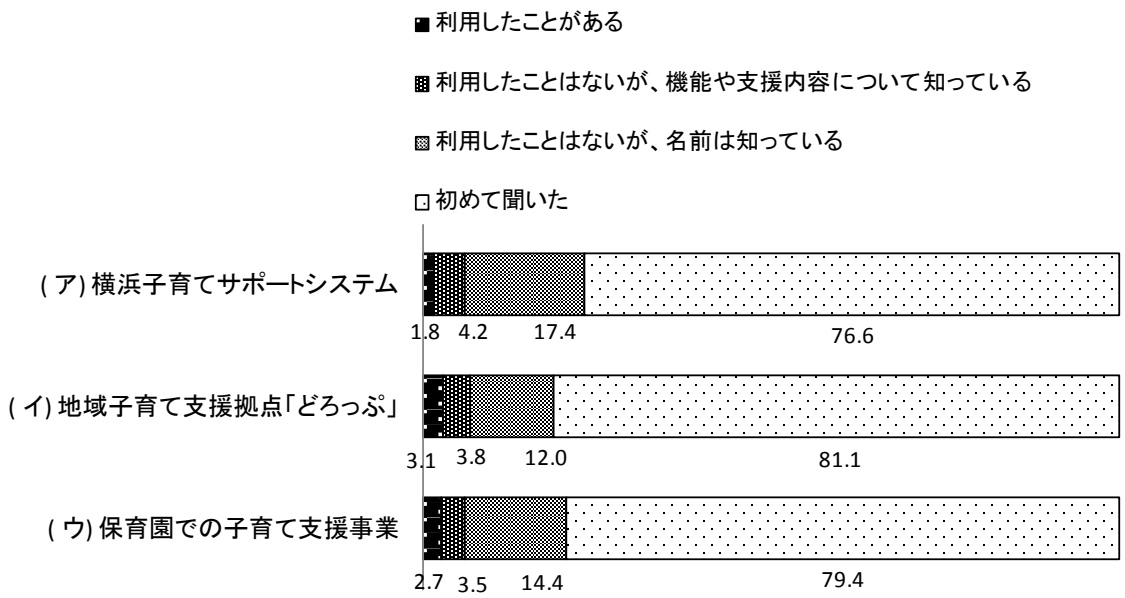
地域の子育て　「協力したい」「いずれ協力したい」「気にかけるようにしたい」が約８割

【図 13】　問 21 地域の子育てに協力したいと思いますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



子育て支援サービスの認知度　「初めて聞いた」がそれぞれ多い

【図 14】　問 22　港北区で行われている子育て支援サービスのうち、次の（ア）～（ウ）についてどれくらいご存知でしたか
（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



≪参考≫

（ア）横浜子育てサポートシステム
「子どもを預かってほしい人」が利用会員として、「子どもを預かる人」が提供会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子どもの預け、預かりを行うシステムです。

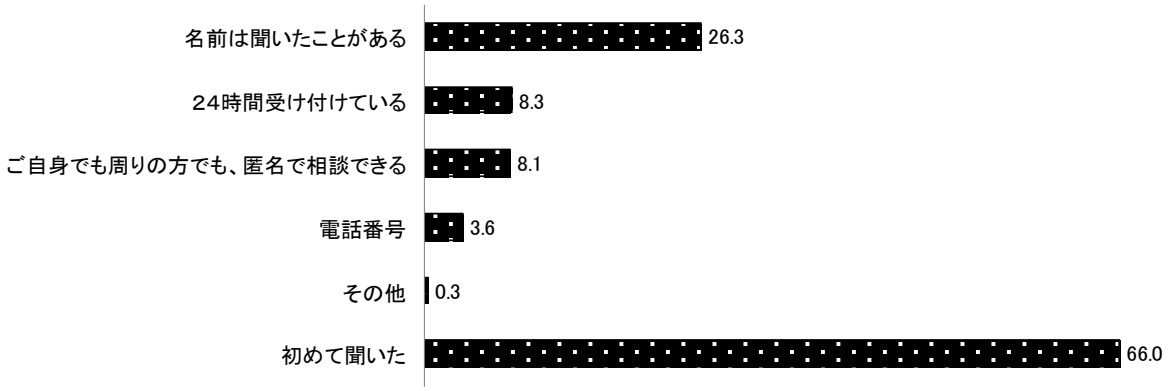
（イ）地域子育て支援拠点
就学前の子どもと保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う施設です。

（ウ）保育園での子育て支援事業
保育園に通っていない親子でも利用できる子育ての相談や園庭の開放などを実施しています。

よこはま子ども虐待ホットライン　「初めて聞いた」が約７割

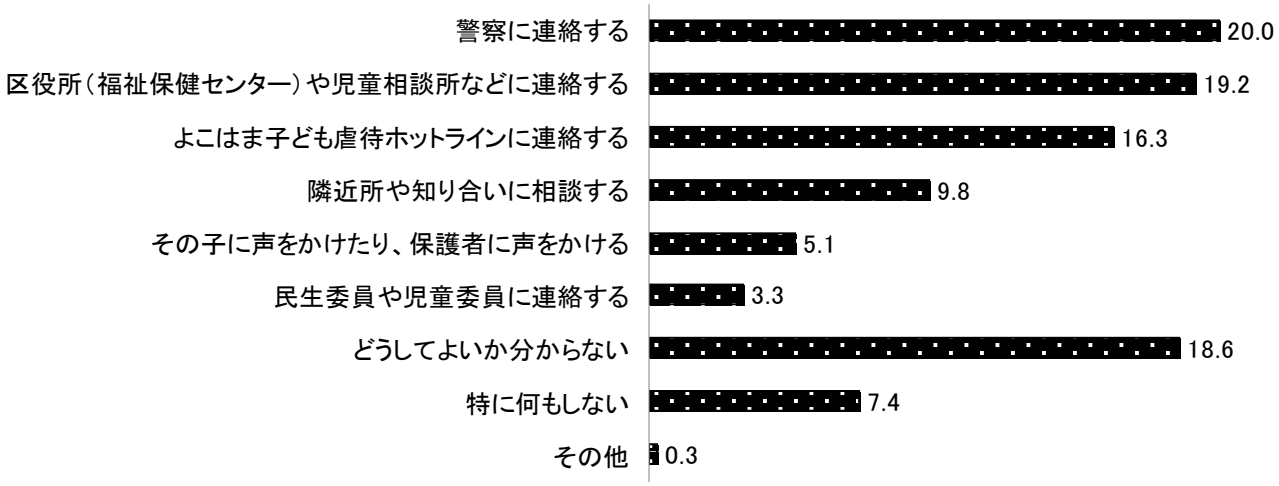
図 15 （問 23）　「よこはま子ども虐待ホットライン」（児童虐待の通報・相談窓口）について知っていることをお選びください

（複数回答）（Ｎ＝1000）（%）



児童虐待への対応　行政機関への連絡が５割強、「どうしてよいか分からない」が約２割

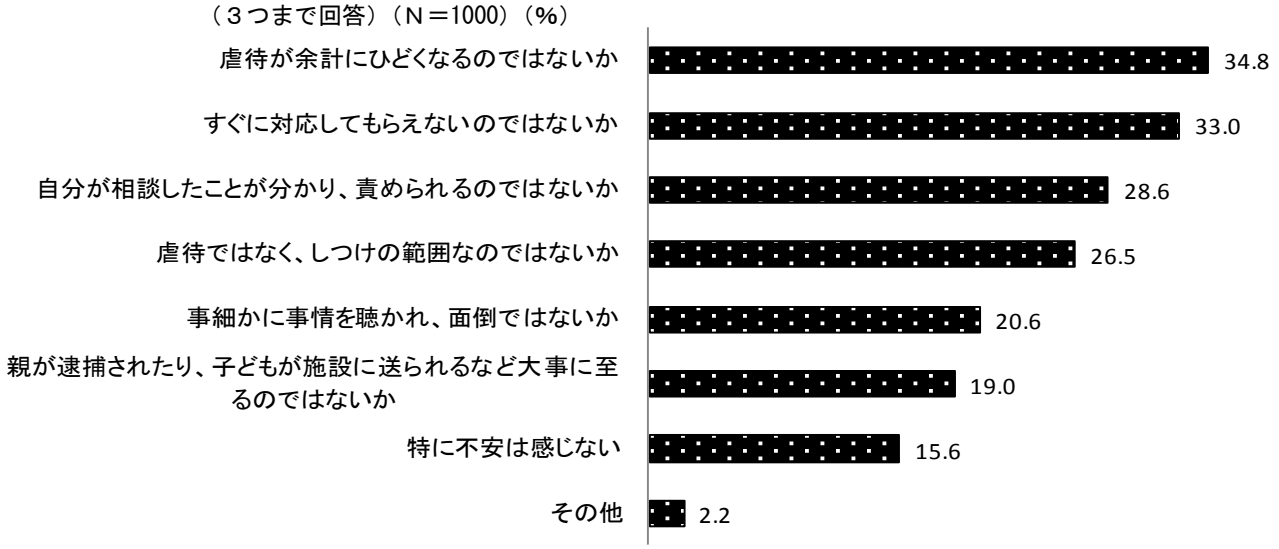
【図 16】 問 24　児童虐待が疑われる児童に気が付いた場合、どのような対応をとりますか（単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



児童虐待対応での不安　「虐待が余計にひどくなるのではないか」など様々な回答

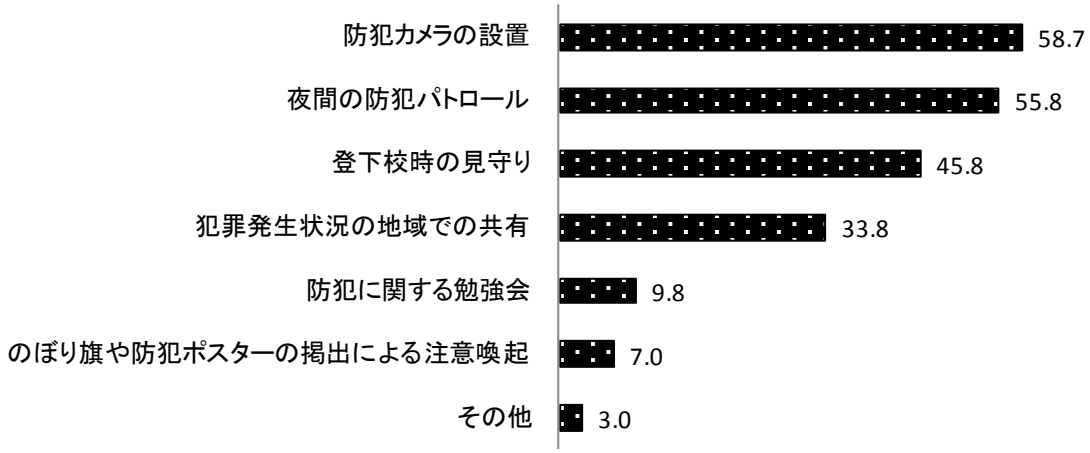
【図 17】 問 25　児童虐待が疑われる児童に気づき対応をとる場合に、不安に感じることは何ですか

（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



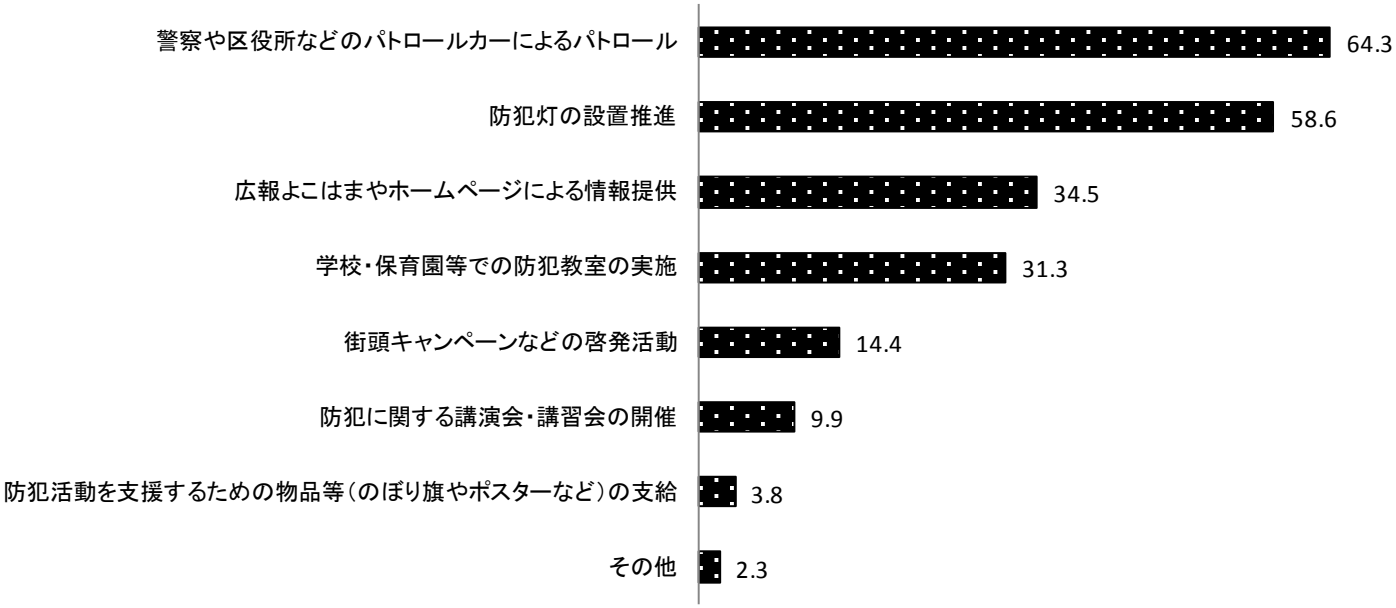
地域で取り組む防犯　「防犯カメラの設置」「夜間の防犯パトロール」の順

【図 18】 問 26　地域で取り組む防犯活動として、あなたが必要だと思うことをお選びください
（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



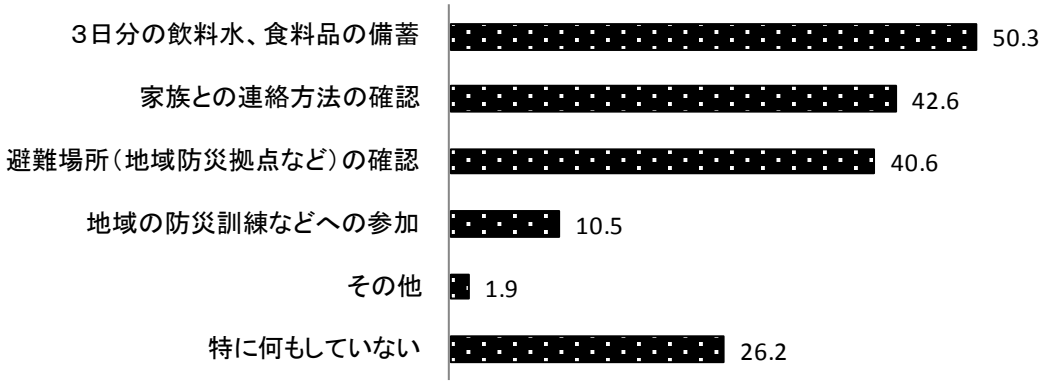
行政の防犯支援策　「パトロール」「防犯灯の設置推進」の順

【図 19】問 27　必要だと思う行政（区役所、警察など）の防犯支援策をお選びください
（３つまで回答）（Ｎ＝1000）（%）



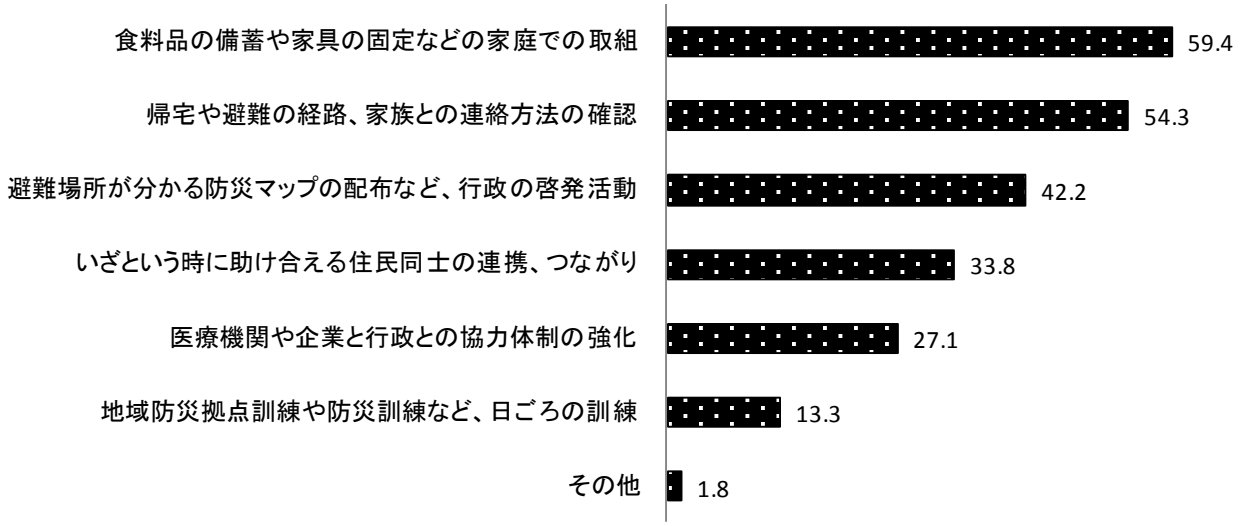
災害への準備　「飲料水、食料品の備蓄」「家族との連絡方法の確認」「避難場所の確認」の順

【図 20】 問 28　災害に備えてどのようなことを準備していますか（複数回答）（Ｎ＝1000）（%）



防災対策で重要と感じたこと　「家庭での取組」「連絡方法の確認」「行政の啓発活動」の順

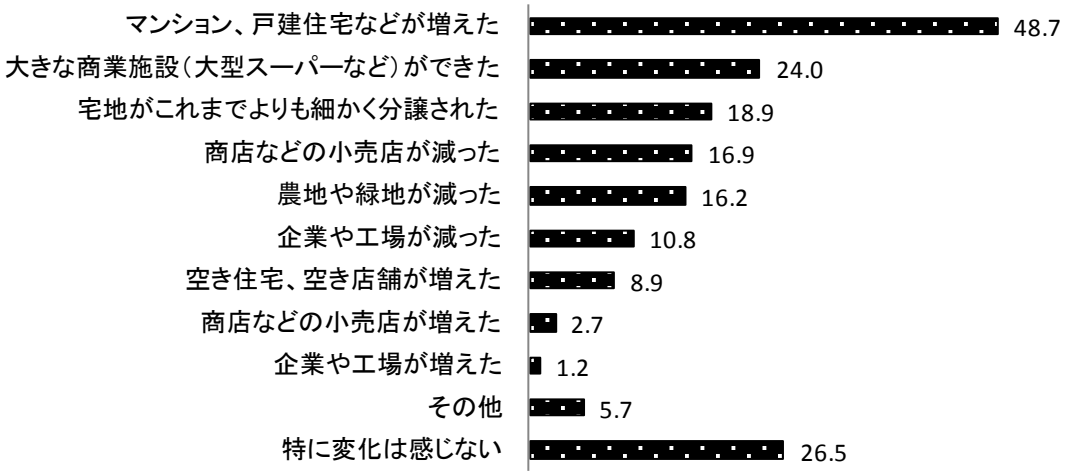
【図 21】 問 29　東日本大震災を教訓に、あなたが防災対策として、特に重要だと感じたことをお選びください
（３つまで回答）　（Ｎ＝1000）（%）



地域環境の変化　「マンション、戸建て住宅などが増えた」が５割弱

【図 22】 問 30　あなたの住んでいる地域について、ここ 4～5 年の間に周辺の環境が変わったと感じることは何ですか

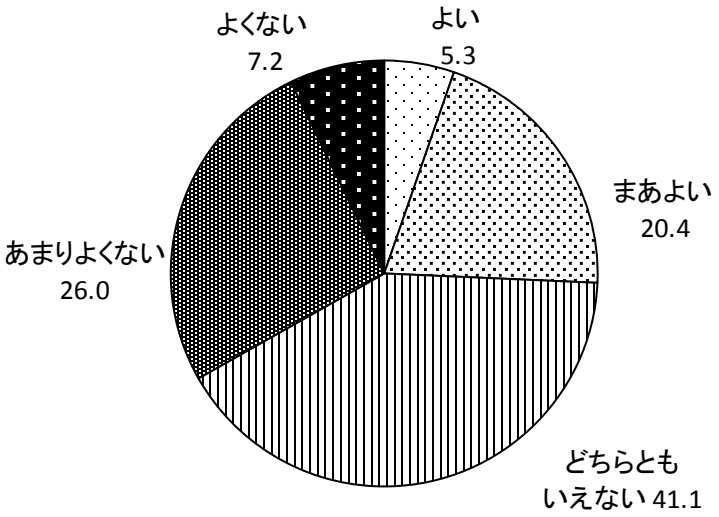
（複数回答）（Ｎ＝1000）（%）



環境変化への評価　「どちらともいえない」など様々な回答

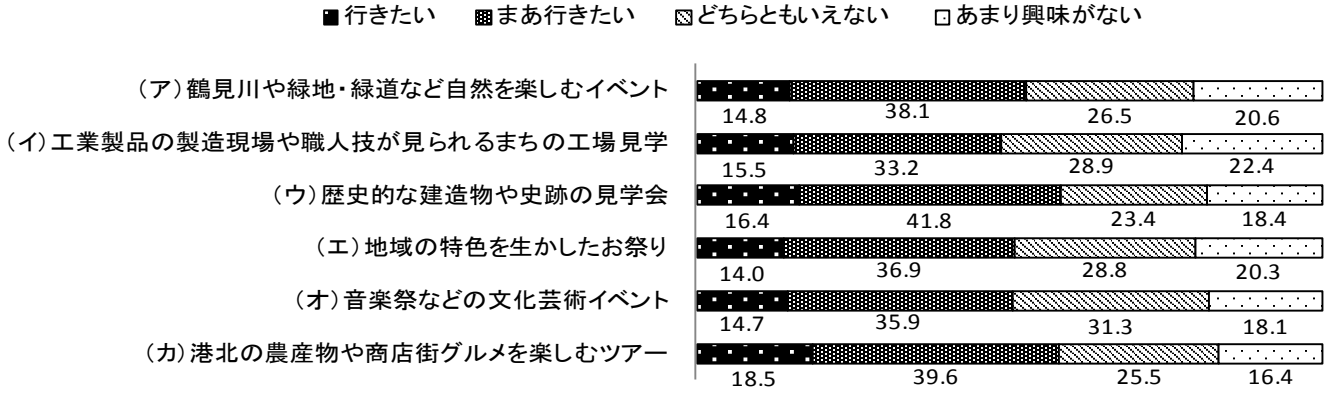
【図 23】 問 31　（問 30 で「特に変化は感じない」と答えた方以外）その変化について、どう思いますか

（単一回答）（Ｎ＝735）（%）



参加したいイベント　それぞれのイベントに「行きたい」「まあ行きたい」が概ね約半数以上

【図 24】 問 32　区の魅力を知るイベントが開かれた場合、行ってみたいと思いますか（各単一回答）（Ｎ＝1000）（%）



4　調査結果の分析

（1）定住志向

これからも区内にずっと住み続けたい
～住み続ける・たぶん住み続けるが７割～

これからもずっと港北区内に住み続けようと思っているかを尋ねたところ、「住み続ける」が 27.2%、「たぶん住み続ける」が 43.9%で、合わせて 71.1%となった。【図 25】

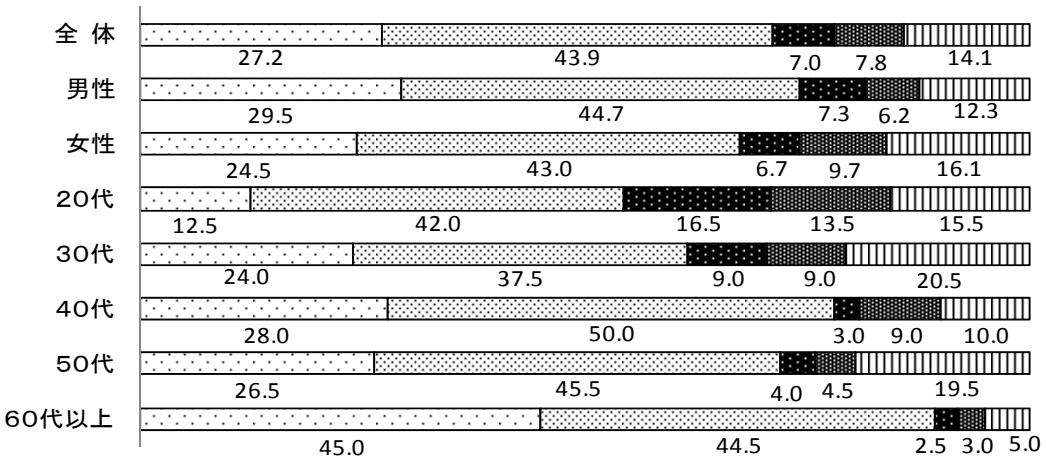
年代別にみると、年代が上がるにつれて定住志向も上がるが、20 代でも半数以上が「住み続ける」「たぶん住み続ける」と回答している。【図 25】

住み続けようと思う理由では、「交通が便利だから」が最も多く、次いで「住んでいる場所に愛着を感じているから」、「買い物に便利だから」と続いた。【表１】

【図 25】 性別・年代別

問９ これからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか（単一選択）（%）

（全体：N=1000、男性：N=535、女性：N=465 、20 代：N=200、30 代：N=200、40 代：N=200、50 代：N=200、60 代以上:N=200）



【表１】　問 10 港北区内に住み続けようと思う理由（複数選択）（%）（Ｎ＝711）

	項目	率
１位	交通が便利だから	67.9
２位	住んでいる場所に愛着を感じているから	61.6
３位	買い物に便利だから	48.5
４位	緑や自然が多いから	31.6
５位	治安がよいから	30.4
６位	街並みなどの景観が良いから	18.3
７位	病院が近くにあるから	18.1
８位	地域の人間関係が良いから	17.9
９位	公共施設が充実しているから	15.2
10 位	その他	11.3
11 位	子育てや教育環境が良いから	8.7

（２）充実させてほしい区の業務

区役所に対する要望は幅広い
～道路や公園の管理、災害に強いまちづくりを望む～

区役所の業務（窓口サービス以外の取組）について今後より充実させてほしいと思うものについて尋ねたところ、最も多かったのが「道路や公園の管理」、次いで「災害に強いまちづくり」となった。

「道路や公園の管理」の具体的な内容をみると、道路や公園の整備を望む声が多い。また、「災害に強いまちづくり」については、避難場所の周知など広報面の充実を望む声が多かった。【表２】

【表２】

問 11 区役所の窓口サービス以外の業務について、今後、より充実させてほしいと思うもの（３つまで回答）

順位	項目	主な具体的内容
１位	道路や公園の管理	・道路について：整備（27 件）、狭い（35 件）、管理（10 件） ・公園について：整備（23 件）、管理（10 件）、設備（10 件） ・駐車駐輪ついて（14 件）・街路樹・緑化について（16 件）・ごみ等について（15 件）・街路灯について（10 件）　など
２位	災害に強いまちづくり	・ハザードマップなどの広報の充実（30 件）・避難場所について（21 件）・訓練について（12 件）・水害について（16 件）・道路について（10 件）　など
３位	子育て不安の軽減などの子育て支援	・待機児童対策について（36 件） ・子育てにかかる費用の軽減について（26 件）　など
４位	区役所からの広報などの情報提供	・ネットやメールによる情報提供について（25 件） ・情報の内容について（22 件） ・配布方法・配架先について（17 件）　など
５位	高齢者の見守り支援などの高齢者福祉	・一人暮らしの高齢者の見守りについて（19 件） ・介護・デイケアについて（11 件）　　など
６位	病気の予防や食の安全などの健康づくり、衛生管理	・健康診断の充実について（23 件）など
７位	生涯学習などの区民の活動支援	・講座の充実について（19 件） ・図書館について（17 件）　など
８位	その他	・図書館などの施設の充実（23 件）・区役所について（12 件）　など ※「特になし」との意見（139 件）を除いた順位です。
９位	区内各所でのイベント開催などの魅力づくり	・お祭りについて（14 件） ・その他のイベントについて（19 件）　など
10 位	町内会・自治会などの地域活動支援	・活動について（13 件）　など
11 位	生涯者の生活支援などの障害者福祉	・施設や道路の整備について（10 件）　など

（３）近所とのつながり

近所への声かけ８割弱、近所に相談できる人は４割
～年代によって近所とのつながりに差～

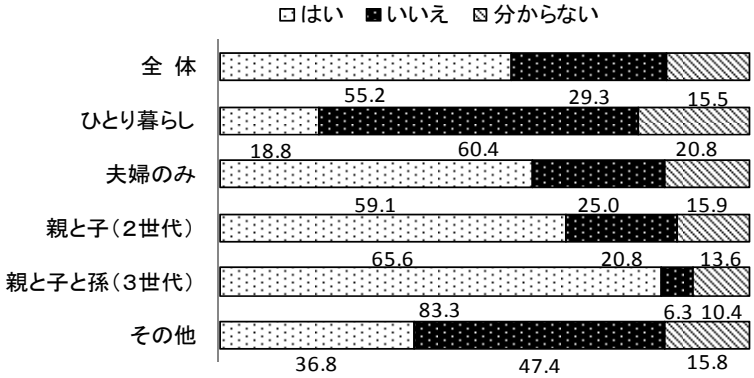
自治会・町内会に加入しているかを尋ねたところ、「加入している」との回答は 55.2%となった。家族構成別では「ひとり暮らし」が 18.8%、住居形態別では「賃貸住宅（マンションなどの共同住宅)」が 17.6%となった。【図 26, 27】また、自治会・町内会への非加入理由は住居形態別で順位が異なる結果となった【表 3】。

近所の人に対し、あいさつなどで声をかけることがあるか聞いたところ、「よく声をかける」が 32.8%「たまに声をかける」が 43.1%で、合わせて 75.9%となった。年代が上がるにつれて「よく声をかける」「たまに声をかける」との回答が増えている。【図 28】

身の回りのことで家族・親戚以外に近所に相談できる人がいるかという質問では、「いる」が 16.5%「どちらかといえばいる」が 23.9%で、合わせて 40.4%となった。こちらも年代が上がるにつれて、「いる」「どらかといえばいる」との回答が増えている。【図 29】また、家族・親戚以外で相談できると良いと思う相手は「近所の知り合い・友人」「仕事での知り合い・友人」の順となった。【図 30】

【図 26】　家族構成別　　問 14　自治会・町内会に加入していますか（単一回答）（%）

（全体：N=1000、ひとり暮らし：N=192、夫婦のみ：N=264、親と子（2 世代）：N=477、親と子と孫（3 世代）：N=48、その他：N=19）



【図 27】住居形態別　（持ち家（一戸建て）：N=331、持ち家（マンションなどの共同住宅）：N=308、賃貸住宅（一戸建て）：N=17、賃貸住宅（マンションなどの共同住宅）：N=312、社宅・公務員住宅・寮：N=29、 その他：N=3）

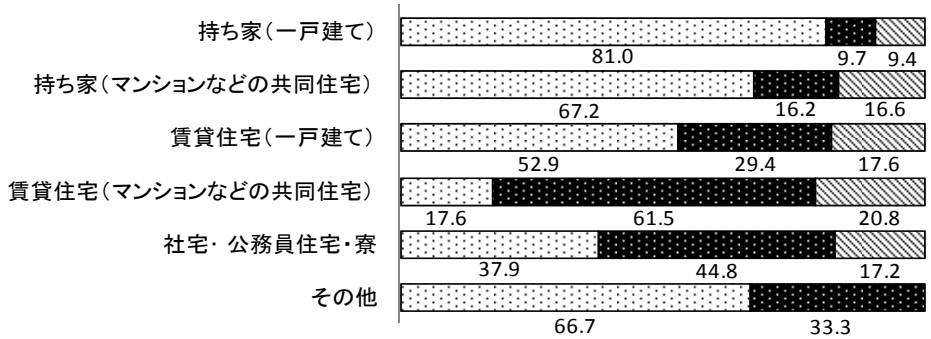


表３　住居形態別　　問 15　自治会・町内会への非加入理由（問 14 でいいえと答えた方）（単一回答）

	持ち家（一戸建て）	持ち家 （マンションなどの共同住宅）	賃貸住宅 （マンションなどの共同住宅）
１位	町内会の活動がよく分からない	マンション管理組合などに加入している	加入方法がよく分からない
２位	加入する必要性を感じない	加入する必要性を感じない	町内会の活動がよく分からない
３位	必要とされる情報が得られない	加入方法がよく分からない	加入する必要性を感じない

【図 28】　年代別　問 18 近所の人に対し、あいさつなどで声をかけることがありますか（単一回答）（%）

（全体：N=1000、20 代：N=200、30 代：N=200、40 代：N=200、50 代：N=200、60 代以上:N=200）

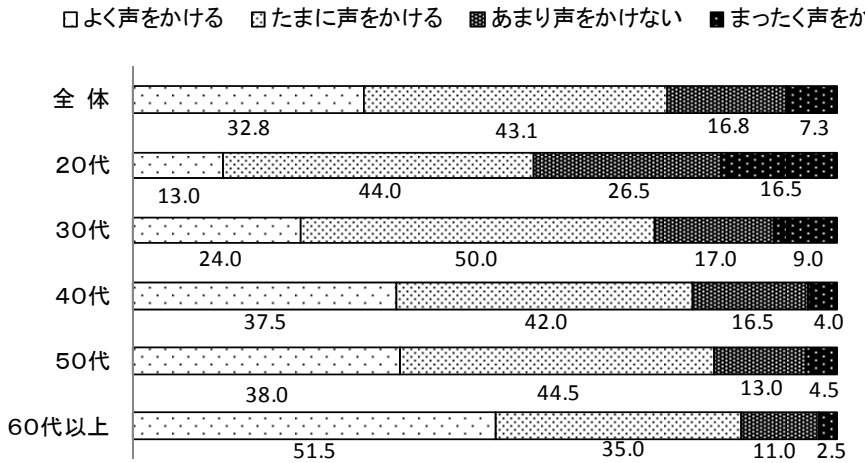


図 29　年代別

問 19　身の回りのことで、ちょっと困ったことがあった場合、家族・親戚以外に近所に相談できる人がいますか

（単一回答）（%）（全体：N=1000、20 代：N=200、30 代：N=200、40 代：N=200、50 代：N=200、60 代以上:N=200）

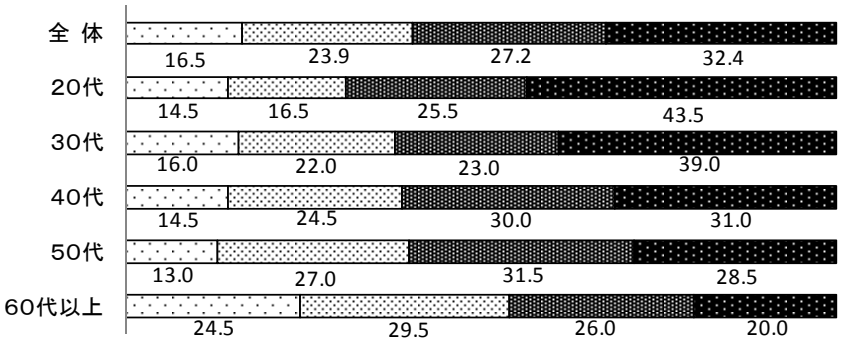
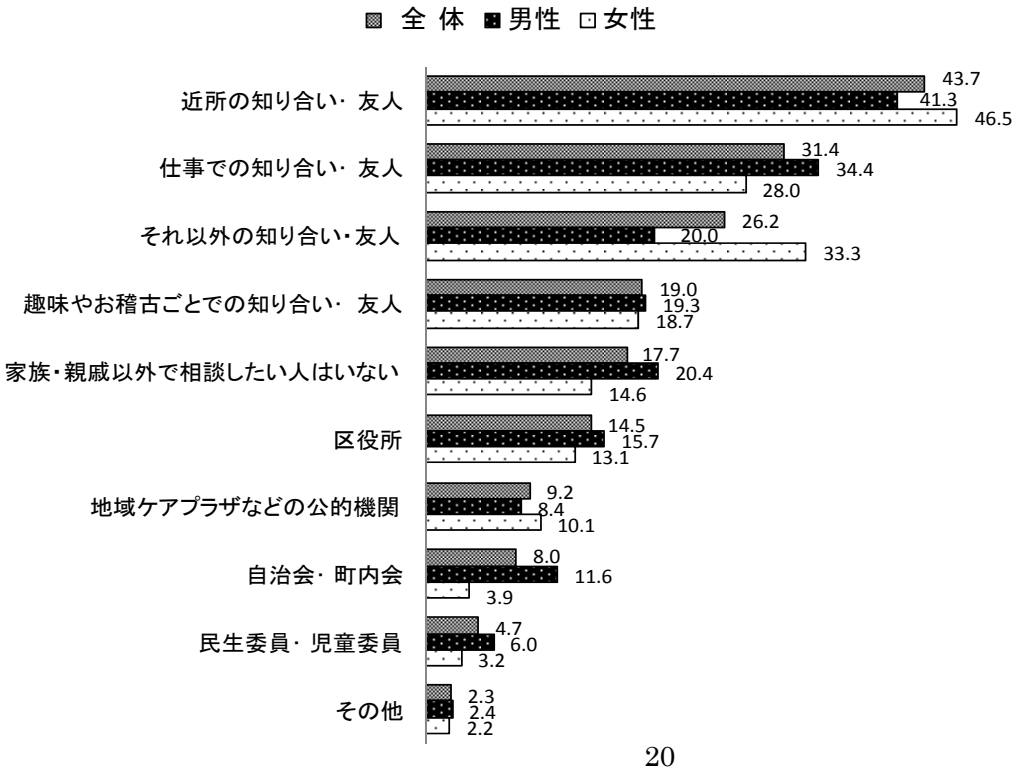


図 30　性別

問 20　身の回りのことで、ちょっと困ったことがあった場合、家族・親戚以外に相談できると良いと思う相手

（３つまで回答）（%）（全体：N=1000、男性：N=535、女性：N=465）



（４）子育て支援

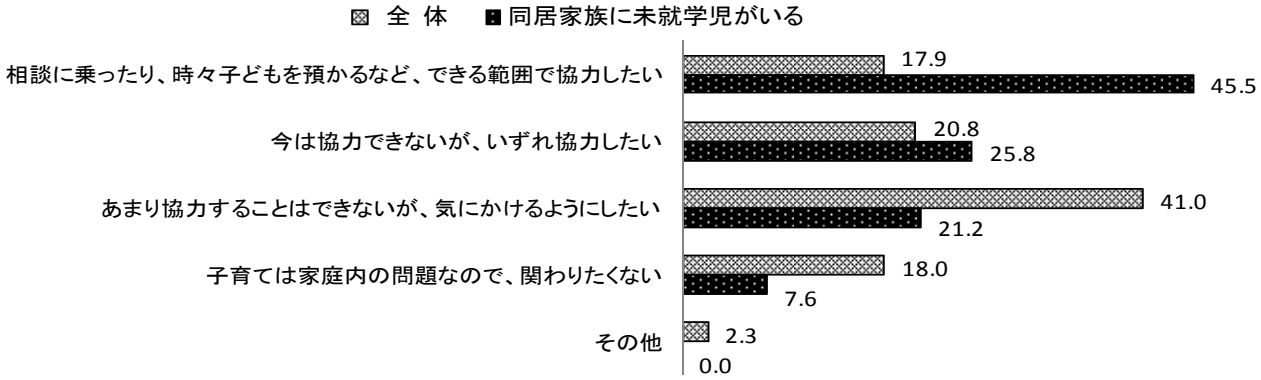
地域の子育てに「協力したい」「いずれ協力したい」「気にかけるようにしたい」が約８割
～児童虐待への対応は行政機関に連絡するが５割強～

地域での子育てに協力したいと思うか尋ねたところ、「できる範囲で協力したい」、「いずれ協力したい」、「気にかけるようにしたい」を合わせると 79.7%となった。中でも、同居家族に未就学児がいる層では、45.5%が「できる範囲で協力したい」と回答した。【図 31】

子育て支援サービスについては、同居家族に未就学児がいる層での認知度は、「横浜子育てサポートシステム」が 53%、「地域子育て支援拠点『どろっぷ』」が 69.7%、「保育園での子育て支援事業」は 57.6%となったが、全体での認知度はそれぞれ 2 割程度だった、【図 32】

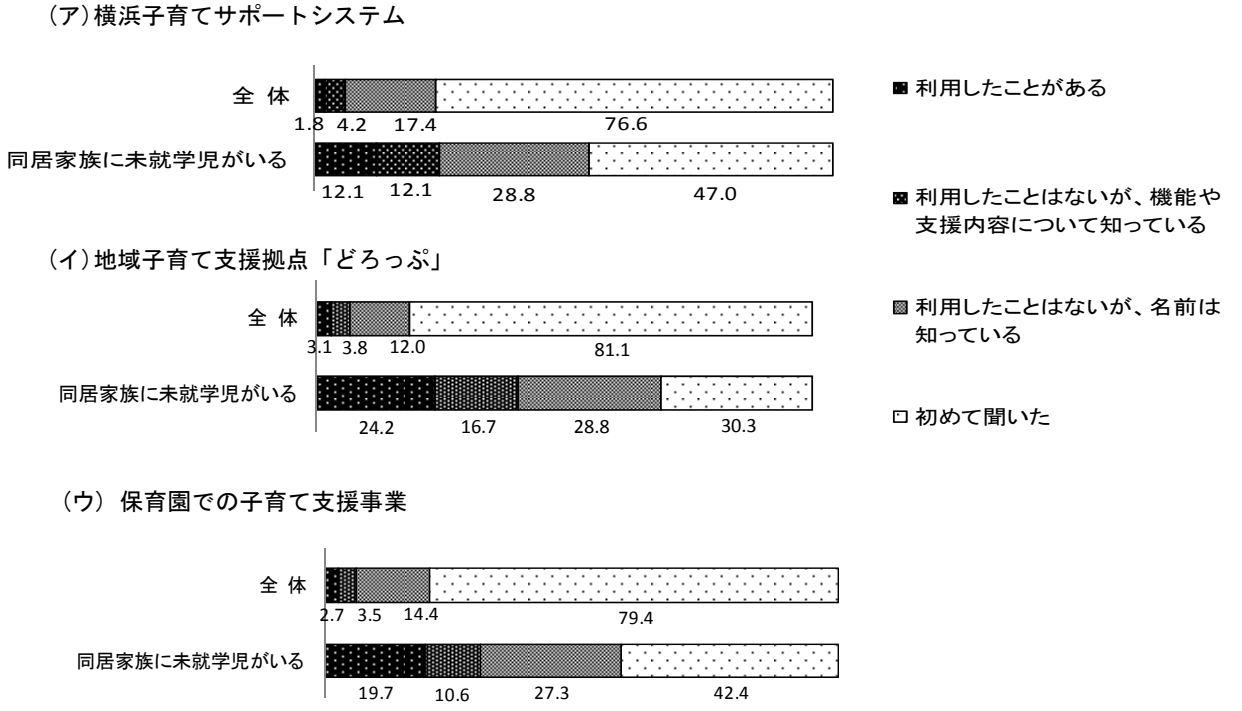
【図 31】同居の未就学児（保育園児・幼稚園児は除く）別

問 21 地域の子育てに協力したいと思いますか（単一回答）（%）（全体：Ｎ＝1000、同居家族に未就学児がいる：N=66）



【図 32】 問 22　港北区で行われている子育て支援サービスのうち、次の（ア）～（ウ）についてどれくらいご存知でしたか（単一回答）（%）

（全体：Ｎ＝1000、同居家族に未就学児がいる：N=66）



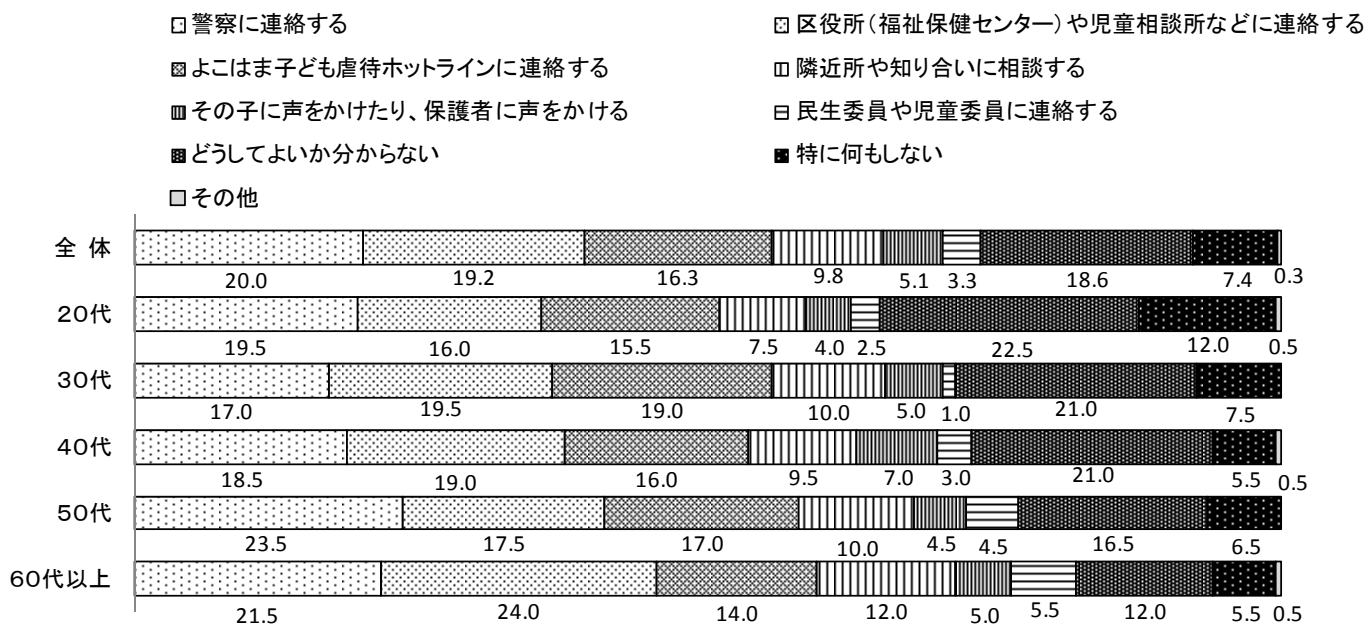
児童虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応としては、「警察」、「区役所・児童相談所」、「よこはま子ども虐待ホットライン」といった行政機関のいずれかに連絡すると回答した人は 55.5%だった。一方、「どうしてよいか分からない」が 18.6%、「特に何もしない」が 7.4%となり、年代が低いほどその傾向が強かった。【図 33】

また、対応の際に、「特に不安は感じない」との回答は 15.6%で、8 割以上が何かしらの不安をあげる回答がみられた。【図 34】

【図 33】　年代別

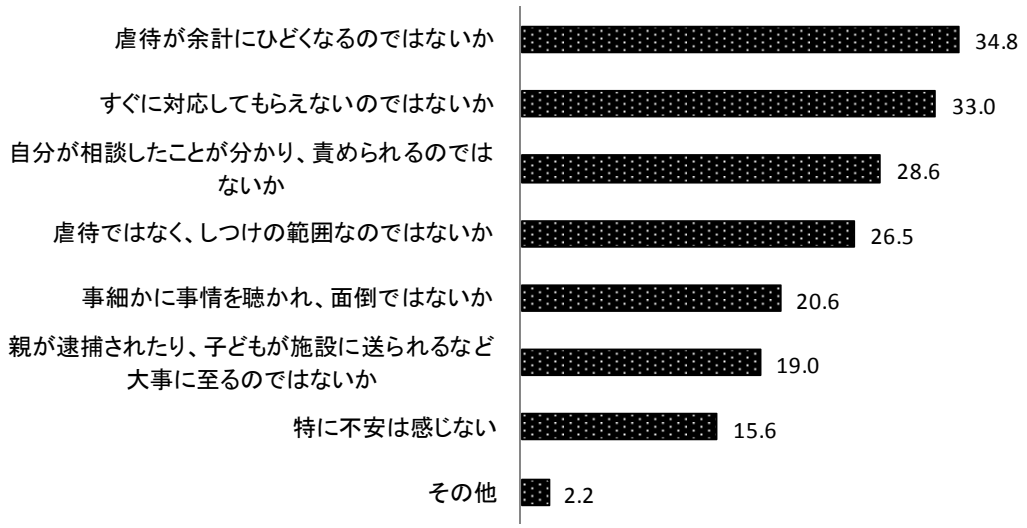
問 24　児童虐待が疑われる児童に気が付いた場合、どのような対応をとりますか（単一回答）（%）

（全体：N=1000、20 代：N=200、30 代：N=200、40 代：N=200、50 代：N=200、60 代以上:N=200）



【図 34】

問 25　児童虐待が疑われる児童に気づき対応をとる場合に、不安に感じることは何ですか（３つまで回答）（N＝1000）（%）



（５）災害への備え

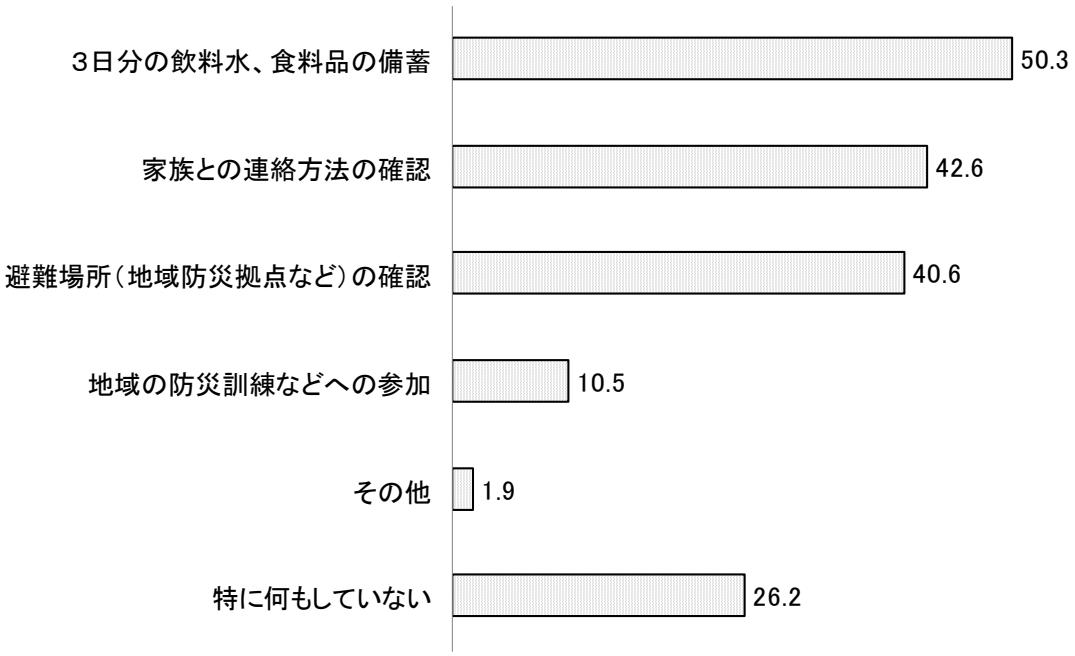
食料品等の備蓄をしている５割、家族との連絡方法の確認４割
～重要だと感じたのは「家庭での取組」「連絡方法の確認」「行政の啓発活動」～

災害に備えた準備状況を尋ねたところ、「3 日分の飲料水、食料品の備蓄」が 50.3%に、「家族との連絡方法の確認」が 42.6%となった。【図 35】一方、ひとり暮らしで「特になにもしていない」との回答は 41.7%だった。【図 36】

東日本大震災を教訓に防災対策として特に重要だと感じたことは、「食料品の備蓄や家具の固定などの家庭での取組」が最も多く、次いで「帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認」となった。「避難場所が分かる防災マップの配布など、行政の啓発活動」が重要との回答は 42.2%と全体で 3 番目に多かったが、60 代以上では、「いざという時に助け合える住民同士の連携、つながり」との回答が 3 番目に多かった。また、30 代では、「帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認」との回答が 1 番目に多かった。【表 4】

【図 35】

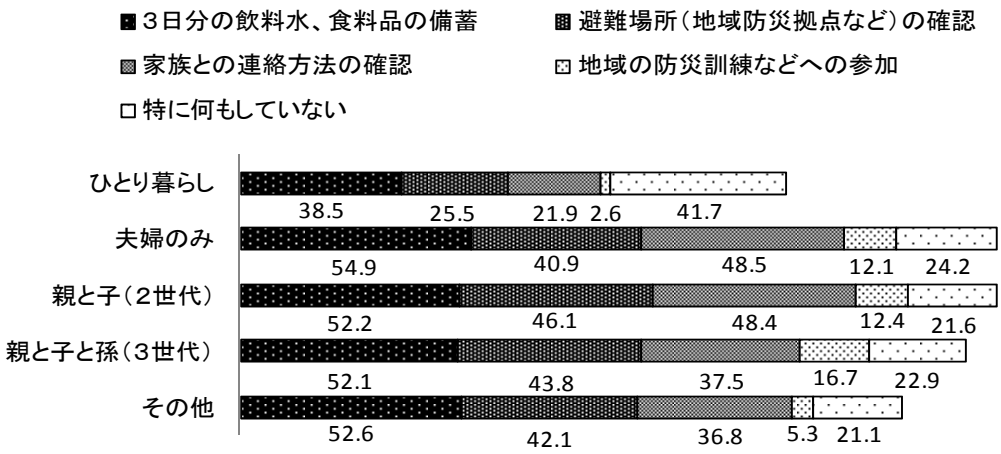
問 28　災害に備えてどのようなことを準備していますか（複数回答）（%）（N＝1000）



【図 36】　家族構成別

問 28　災害に備えてどのようなことを準備していますか（複数回答）（%）

（全体：N=1000、ひとり暮らし：N=192、夫婦のみ：N=264、親と子（2 世代）：N=477、親と子と孫（3 世代）：N=48、その他：N=19）



【表 4】　年代別

問 29　東日本大震災を教訓に、防災対策として特に重要だと感じたこと（３つまで回答）（%）

（全体：N=1000、20 代：N=200、30 代：N=200、40 代：N=200、50 代：N=200、60 代以上:N=200）

	全体 ※括弧内数値は%	30 代 ※括弧内数値は%	60 代以上 ※括弧内数値は%
1 位	食料品の備蓄や家具の固定などの家庭での取組（59.4）	帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認（59.0）	食料品の備蓄や家具の固定などの家庭での取組（55.0）
2 位	帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認(54.3)	食料品の備蓄や家具の固定などの家庭での取組（57.0）	帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認（49.0）
3 位	避難場所が分かる防災マップの配布など、行政の啓発活動(42.2)	避難場所が分かる防災マップの配布など、行政の啓発活動(44.5)	いざという時に助け合える住民同士の連携、つながり（48.5）
4 位	いざという時に助け合える住民同士の連携、つながり（33.8）	いざという時に助け合える住民同士の連携、つながり（29.5）	避難場所が分かる防災マップの配布など、行政の啓発活動（43.0）
5 位	医療機関や企業と行政との協力体制の強化（27.1）	医療機関や企業と行政との協力体制の強化（23.5）	医療機関や企業と行政との協力体制の強化（32.0）
6 位	地域防災拠点訓練や防災訓練など、日ごろの訓練(13.3)	地域防災拠点訓練や防災訓練など、日ごろの訓練（8.5）	地域防災拠点訓練や防災訓練など、日ごろの訓練（21.0）

平成24年度　港北区区民意識調査　調査項目

■あなたご自身についてお伺いします。

問1　あなたがお住まいの地域をお選びください。（〇は1つ）

1　大曽根、大曽根台
2　菊名4丁目～7丁目、篠原北、新横浜、錦が丘、大豆戸町
3　菊名1丁目～3丁目、篠原台町、篠原西町、篠原東、仲手原、富士塚、篠原町
4　岸根町、小机町、鳥山町
5　樽町
6　大倉山
7　師岡町
8　新吉田町、新吉田東
9　高田町、高田東、高田西
10　綱島上町、綱島台、綱島東、綱島西
11　新羽町、北新横浜
12　下田町、日吉、日吉本町、箕輪町

問2　あなたのご家庭（同居）の構成をお選びください。（〇は1つ）

1　ひとり暮らし
2　夫婦のみ
3　親と子（2世代）
4　親と子と孫（3世代）
5　その他（具体的に　　）

問3　あなた本人も含めて、あなたのご家庭（同居）に次の方がいらっしゃいますか。（それぞれ〇1つ）

	1 いる	2 いない
（ア） 未就学児（保育園・幼稚園に通っている場合を除く）	1	2
（イ） 保育園児	1	2
（ウ） 幼稚園児	1	2
（エ） 小学生・中学生	1	2
（オ） 義務教育を修了した未成年	1	2
（カ） 要介護状態など支援を必要とする方（64歳以下の成人）	1	2
（キ） 要介護状態など支援を必要とする方（65歳以上）	1	2
（ク） （キ）以外の方で、65歳以上の高齢者	1	2

問4　あなたの現在の就労状況について該当するものをお選びください。（〇は1つ）

1　自営業
2　会社員･公務員・団体職員（正規）
3　会社員･公務員・団体職員（契約・嘱託・派遣）
4　パート･アルバイト
5　学生
6　就労していない
7 その他　（具体的に　　）

問4で「1　自営業」～「5　学生」と答えた方にお聞きします。

問5　あなたの主な通勤・通学場所はどこですか。（〇はひとつ）

1　港北区内
2　横浜市内（港北区以外）
3　川崎市
4　神奈川県内(横浜市、川崎市以外）
5　東京都23区内
6　東京都内（23区外）
7　その他（具体的に　　）

問6　あなたが普段最もよくお使いになる駅をお選びください。（○は1つ）
1　日吉駅
2　綱島駅
3　大倉山駅
4　菊名駅
5　妙蓮寺駅
6　白楽駅
7　新羽駅
8　北新横浜駅
9　新横浜駅
10　岸根公園駅
11　日吉本町駅
12　高田駅
13　東山田駅
14　小机駅
15　その他（具体的に　　）

問7　あなたのお住まいの形態をお選びください。（○は1つ）
1　持ち家（一戸建て）
2　持ち家（マンションなどの共同住宅）
3　賃貸住宅（一戸建て）
4　賃貸住宅（マンションなどの共同住宅）
5　社宅・公務員住宅・寮
6　その他（具体的に　　）

問8　あなたは港北区内に何年くらいお住まいですか。（○は1つ）
1　0～2年未満
2　2年以上～5年未満
3　5年以上～10年未満
4　10年以上～20年未満
5　20年以上～30年未満
6　30年以上～40年未満
7　40年以上

問9　あなたはこれからもずっと港北区内に住み続けようと思っていますか。（○は1つ）
1　住み続ける
2　たぶん住み続ける
3　移転する
4　たぶん移転する
5　わからない

問9で「1　住み続ける」「2　たぶん住み続ける」とお答えの方にお聞きします。
問10　港北区内に住み続けようと思う理由についてお選びください。（○はいくつでも）
1　住んでいる場所に愛着を感じているから
2　地域の人間関係が良いから
3　治安がよいから
4　緑や自然が多いから
5　街並みなどの景観が良いから
6　子育てや教育環境が良いから
7　交通が便利だから
8　買物に便利だから
9　公共施設が充実しているから
10　病院が近くにあるから
11　その他（具体的に　　）

■区政についてお伺いします。

問11　港北区役所では、各種証明書発行などの窓口サービスの他に、地域のニーズに沿った独自の取組を行っています。
区役所の窓口サービス以外の次の業務について、今後、より充実させてほしいと思う業務をお選びください。（○は3つまで）
また、選択した業務について、充実させてほしい具体的内容がありましたら、ご記入ください。（自由記入）

		選択した場合記入
1	区役所からの広報などの情報提供	具体的内容
2	道路や公園の管理	具体的内容
3	高齢者の見守り支援などの高齢者福祉	具体的内容
4	障害者の生活支援などの障害者福祉	具体的内容
5	子育て不安の軽減などの子育て支援	具体的内容
6	病気の予防や食の安全などの健康づくり、衛生管理	具体的内容
7	町内会・自治会などの地域活動支援	具体的内容
8	生涯学習などの区民の活動支援	具体的内容
9	災害に強いまちづくり	具体的内容
10	区内各所でのイベント開催などの魅力づくり	具体的内容
11	その他（具体的に　　）	具体的内容

問12　あなたは区役所の情報を主に何から得ていますか（○は3つまで）
1　広報よこはま
2　区役所が発行するチラシ、リーフレットなど
3　港北区役所ホームページ　（http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/）
4　港北区ツイッター　（http://twitter.com/yokohama_kohoku）
5　メールマガジン（例：防犯メール、子育て支援情報メールなど）
6　タウン情報誌
7　ケーブルテレビ
8　知り合い・家族からの情報
9　その他（具体的に　　）

問13　区役所からの広報で知りたい内容は何ですか（○は3つまで）
1　福祉　　2　健康・衛生　　3　子育て・教育
4　防災　　5　防犯　　6　自然・環境
7　商店街・歴史・観光　　8　文化・芸能
9　施設情報　　10　イベント情報　　11　地域活動・ボランティア情報
12　その他（具体的に　　）

■地域での関わりについてお伺いします。

問14　あなたは自治会・町内会に加入していますか
1　はい
2　いいえ

問14で「2　いいえ」とお答えの方にお聞きします。

問15　それはどのような理由からですか（○は3つまで）
1　町内会の活動がよく分からないから
2　魅力ある活動をしていないから
3　必要とされる情報が得られないから
4　会費が高いから
5　加入して活動する時間がないから
6　加入する必要性を感じないから
7　近所づきあいがわずらわしいから
8　役員になるのが重荷だから
9　マンション管理組合など別の組織に加入しているから
10　加入方法がよく分からないから
11　その他（具体的に　　）

問16　あなたが参加したことがある、地域の皆さんと行う活動･ボランティア活動をお選びください。（過去3年以内）（〇はいくつでも）

1　防犯パトロールや交通安全運動などの防犯・安全に関する活動
2　地域の防災訓練の参加や災害ボランティアなどの防災・災害救援に関する活動
3　道路や公園の清掃などのまちの美化活動
4　植樹や花壇設置などの緑化・環境整備活動
5　資源回収やリサイクル活動
6　高齢者や障害者や子育ての手助けなどの福祉に関する活動
7　スポーツ活動
8　文化・芸術活動
9　特にない
10　その他（具体的に　　）

問17　あなたが今後参加してみたいと思う、地域の皆さんと行う活動･ボランティア活動をお選びください。

1　防犯パトロールや交通安全運動などの防犯・安全に関する活動
2　地域の防災訓練の参加や災害ボランティアなどの防災・災害救援に関する活動
3　道路や公園の清掃などのまちの美化活動
4　植樹や花壇設置などの緑化・環境整備活動
5　資源回収やリサイクル活動
6　高齢者や障害者や子育ての手助けなどの福祉に関する活動
7　スポーツ活動
8　文化・芸術活動
9　特にない
10　その他（具体的に　　）

問18　あなたは近所の人に対し、あいさつなどで声をかけることがありますか。　（〇は1つ）

1　よく声をかける
2　たまに声をかける
3　あまり声をかけない
4　まったく声をかけない

問19　あなたは身のまわりのことで、ちょっと困ったことがあった場合、家族･親戚以外に近所に相談できる人がいますか。（〇は1つ）

1　いる
2　どちらかといえばいる
3　どちらかといえばいない
4　いない

問20　あなたが身のまわりのことでちょっと困ったことがあった場合、家族・親戚以外で、相談するまたは相談できると良いと思う相手をお選びください。（〇は3つまで）

1　近所の知り合い･友人
2　仕事での知り合い･友人
3　趣味やお稽古ごとでの知り合い･友人
4　それ以外の知り合い・友人
5　自治会･町内会
6　民生委員･児童委員
7　地域ケアプラザなどの公的機関
8　区役所
9　家族・親戚以外で相談したい人はいない
10　その他（具体的に　　）

■子育てについてお伺いします

問21　核家族化により、家庭での子育ての負担が大きくなっていると言われています。そのため、近隣の人たちからの支えが重要だと考えますが、あなたは、地域の子育てに協力したいと思いますか。（○はひとつ）

1　相談に乗ったり、時々子どもを預かるなど、できる範囲で協力したい
2　今は協力できないが、いずれ協力したい
3　あまり協力することはできないが、気にかけるようにしたい
4　子育ては家庭内の問題なので、関わりたくない
5　その他（具体的に　　）

問22　あなたは、港北区で行われている子育て支援サービスのうち、次の（ア）～（ウ）についてどれくらいご存知でしたか。（○はそれぞれひとつ）

1　利用したことがある
2　利用したことはないが、機能や支援内容について知っている
3　利用したことはないが、名前は知っている
4　初めて聞いた

（ア）横浜子育てサポートシステム	1	2	3	4
（イ）地域子育て支援拠点「どろっぷ」	1	2	3	4
（ウ）保育園での子育て支援事業	1	2	3	4

（ア）横浜子育てサポートシステム
「子どもを預かってほしい人」が利用会員として、「子どもを預かる人」が提供会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子どもの

（イ）地域子育て支援拠点
就学前の子どもと保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う施設です。

（ウ）保育園での子育て支援事業
保育園に通っていない親子でも利用できる子育ての相談や園庭の開放などを実施しています。

問23　横浜市では児童虐待の通報や相談窓口として、「よこはま子ども虐待ホットライン」という電話相談窓口を開設しています。あなたが「よこはま子ども虐待ホットライン」について知っていることをお選びください。（○はいくつでも）

1　電話番号（フリーダイヤル　0120－805－240）
2　24時間受け付けている
3　ご自身でも周りの方でも、匿名で相談できる
4　名前は聞いたことがある
5　初めて聞いた
6　その他（具体的に　　）

問24　あなたは、児童虐待が疑われる児童に気が付いた場合、どのような対応をとりますか。（○はひとつ）

1　よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する。
2　区役所（福祉保健センター）や児童相談所などに連絡する
3　警察に連絡する
4　民生委員や児童委員に連絡する
5　隣近所や知り合いに相談する
6　その子に声をかけたり、保護者に声をかける
7　どうしてよいか分からない
8　特に何もしない
9　その他（具体的に　　）

問25　あなたが、児童虐待が疑われる児童に気づき対応をとる場合に、不安に感じることは何ですか（○は3つま

1　親が逮捕されたり、子どもが施設に送られるなど大事に至るのではないか
2　事細かに事情を聴かれ、面倒ではないか
3　自分が相談したことが分かり、責められるのではないか
4　すぐに対応してもらえないのではないか
5　虐待ではなく、しつけの範囲なのではないか
6　虐待が余計にひどくなるのではないか
7　特に不安は感じない
8　その他（具体的に　　）

■防犯についてお伺いします。

問26　港北区では、地域の防犯力が向上し、安全、安心に暮らすため、地域住民を中心として、行政（区役所、警察など）、各団体が一丸となって防犯活動を推進しています。
地域で取り組む防犯活動として、あなたが必要だと思うことをお選びください。（○は3つまで）

1　夜間の防犯パトロール
2　登下校時の見守り
3　防犯カメラの設置
4　犯罪発生状況の地域での共有
5　のぼり旗や防犯ポスターの掲出による注意喚起
6　防犯に関する勉強会
7　その他（具体的に　　）

問27　あなたが必要だと思う行政（区役所、警察など）の防犯支援策をお選びください。（○は3つまで）

1　広報よこはまやホームページによる情報提供
2　学校・保育園等での防犯教室の実施
3　街頭キャンペーンなどの啓発活動
4　防犯に関する講演会・講習会の開催
5　防犯灯の設置推進
6　防犯活動を支援するための物品等（のぼり旗やポスターなど）の支給
7　警察や区役所などのパトロールカーによるパトロール
8　その他（具体的に　　）

■防災についてお伺いします。

問28　あなたは、災害に備えてどのようなことを準備していますか。（○はいくつでも）

1　3日分の飲料水、食料品の備蓄
2　避難場所（地域防災拠点※など）の確認
3　家族との連絡方法の確認
4　地域の防災訓練などへの参加
5　特に何もしていない
6　その他（具体的に　　）

※地域防災拠点とは、大規模な地震が発生し、住宅が倒壊又は火災の危険性があるときに、地域住民が避難し、一定期間生活する場所です。港北区内には小学校と中学校、合わせて28ヶ所が地域防災拠点として指定

問29　東日本大震災を教訓に、あなたが防災対策として、特に重要だと感じたことをお選びください。（○は3つまで）

1　避難場所が分かる防災マップの配布など、行政の啓発活動
2　医療機関や企業と行政との協力体制の強化
3　いざという時に助け合える住民同士の連携、つながり
4　地域防災拠点訓練や防災訓練（※）など、日ごろの訓練
5　帰宅や避難の経路、家族との連絡方法の確認
6　食料品の備蓄や家具の固定などの家庭での取組
7　その他（具体的に　　）

※
・地域防災拠点訓練
　地域が震災時に避難所となる学校で行う、避難所を運営するための訓練です。
・防災訓練
　消防署が火災予防や人命救助を目的

■地域の変化についてお伺いします。

問30　あなたの住んでいる地域について、ここ4～5年の間に周辺の環境が変わったと感じることは何ですか。（○はいくつでも）

1　大きな商業施設（大型スーパーなど）ができた
2　企業や工場が増えた
3　企業や工場が減った
4　マンション、戸建住宅などが増えた
5　商店などの小売店が増えた
6　商店などの小売店が減った
7　農地や緑地が減った
8　宅地がこれまでよりも細かく分譲された
9　空き住宅、空き店舗が増えた
10　特に変化は感じない
11　その他（具体的に　　）

※4年前の平成20年（2008年）は横浜市営地下鉄グリーンラインが開業した年です。
※区内居住歴が5年未満の方は転入してから現

問30で「10　特に変化は感じない」と答えた方以外にお聞きします。

問31　その変化について、どう思いますか。

1　よい　　2　まあよい　　3　どちらともいえない
4　あまりよくない　　5　よくない

■港北区の魅力についてお伺いします。

問32　港北区は、鶴見川が中心を流れ、水と緑が豊かなまちであるだけでなく、市内で最も多くの製造業の事業所がある、大倉山記念館や江戸時代以前からの寺社・古民家など歴史的な建造物が多く残されている、など多彩な顔を持っています。
あなたは、区の魅力を知るイベントが開かれた場合、行ってみたいと思いますか。（〇はそれぞれ1つ）

1　行きたい
2　まあ行きたい
3　どちらともいえない
4　あまり興味がない

（ア） 鶴見川や緑地・緑道など自然を楽しむイベント	1	2	3	4
（イ） 工業製品の製造現場や職人技が見られるまちの工場見学	1	2	3	4
（ウ） 歴史的な建造物や史跡の見学会	1	2	3	4
（エ） 地域の特色を生かしたお祭り	1	2	3	4
（オ） 音楽祭などの文化芸術イベント	1	2	3	4
（カ） 港北の農産物や商店街グルメを楽しむツアー	1	2	3	4

問33　港北区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

平成 24 年度港北区区民意識調査報告書

平成 24 年（2012 年）11 月

【発行】
横浜市港北区区政推進課
〒222－0032
横浜市港北区大豆戸町２６－１
TEL　045－540－2229
FAX　045－540－2209
E－MAIL　ko-kusei@city.yokohama.jp

【調査委託機関】
株式会社サーベイリサーチセンター